

〔6月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

ヒン

小二
たかだわたる

山崎掃雪先生

幼・小学1年参考手本

と

小一
いけだみさ

崎井恵風先生

るかえ

小二
やまだゆうじ

田中扇溪先生

つの

小一
いとうかな

東福青篁先生

〔6月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

雨
水

小四
山口ゆき

廣瀬舟雲先生

小学3年参考手本

川
上

小三
三浦洋子

後藤大峰先生

小四

長田利一

さあ
いじ

白石和楓先生

や夕
不

小三
工藤和子

千葉蒼玄先生

〔6月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

凶 天 気

小六
高木 厚

種谷萬城先生

小学5年参考手本

若者

小五
小池哲平

小池蹊舟先生

小六

三浦洋子

節電

恒次鶴城先生

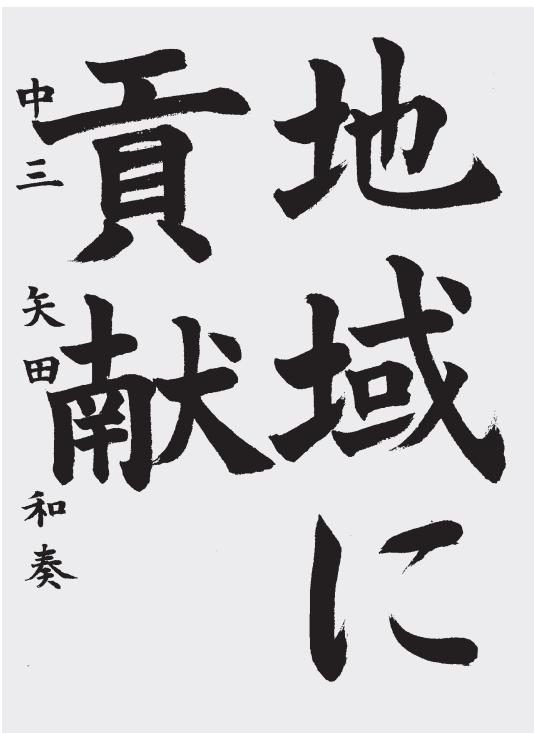
仕上

小五
三浦洋子

川島舟錦先生

〔6月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



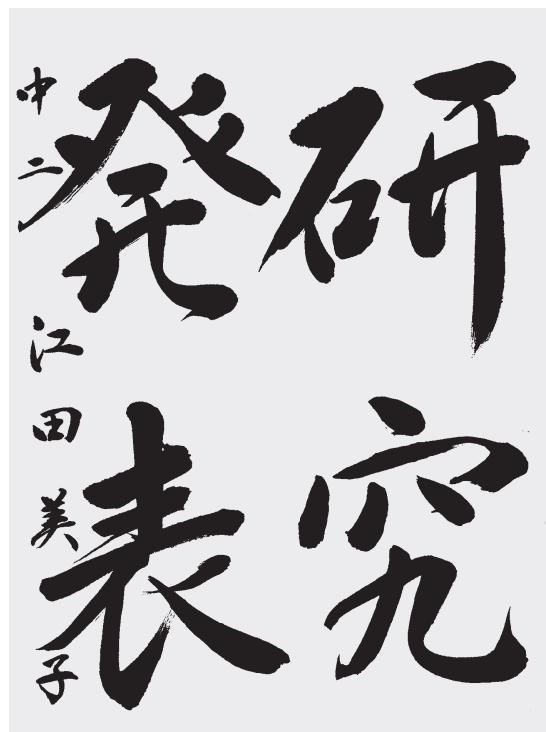
名 越 蒼 竹 先生



小 竹 石 雲 先生



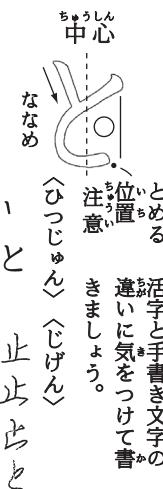
下 谷 洋 子 先生



辻 元 大 雲 先生

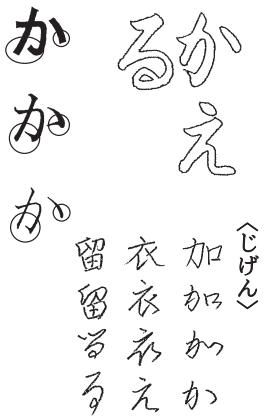
毛筆参考手本解説(1)

1年

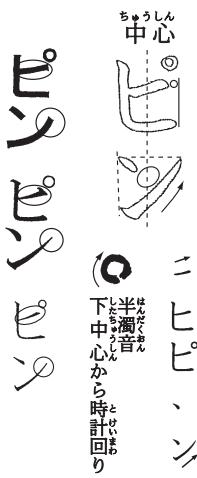


とめる
注意

かつじて活字とて書が文字の
違いに気をつけて書
きましょう。



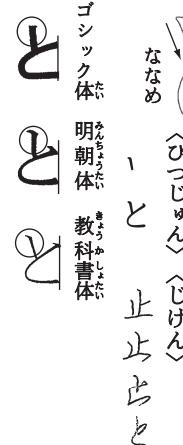
加かか
衣衣衣
留留留
るるる



ヒヒビン
半圓音
下中上
心から時計回り

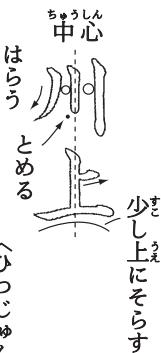


川川ツツ
乃乃のの

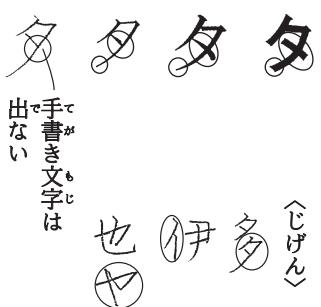


止止止
止止止

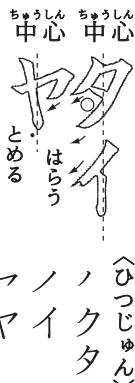
3年



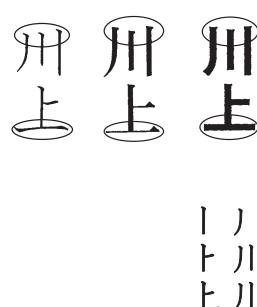
少し上にそらす
<ひつじゅん>



出で手書き文字は
ない



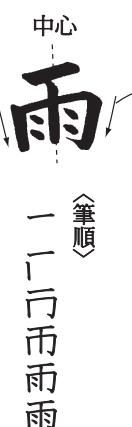
とめる
<ひつじゅん>



ノリ川
<ひつじゅん>

4年

左右の縦部は内側に向ける



筆順

一一一「雨雨雨

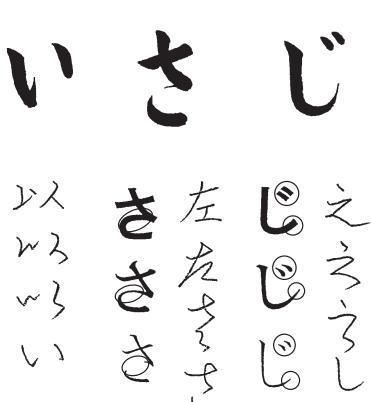


筆順

水水水



はらいをたて線より
さげない



いいい
いいい



筆順

一オオ水

5年



右側へ
中心より
日は

筆順

最大幅

一サササ若若
一土ヰ者者者者



筆順

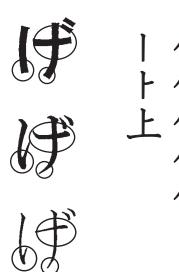
一サササ若若
一土ヰ者者者者



この横画が長い
すこし空く



一ト上



毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

次へつながる
気持ちで

究 研

〈許容〉 方向
曲直 止め

中心
天 気

「メ」は中心より
左側に 反らす

図

天 气

〈筆順〉

一二 天天

ノ ノ 气 气 气 气

図 図 図 図 図 図



域

域 域 域

地

也 扱い

上部はあける
曲がりのはねの方向

上部はあける
曲がりのはねの方向

次へつながる
気持ちで

次へつながる
気持ちで

究 研

次へつながる
気持ちで

次へつながる
気持ちで

次へつながる
気持ちで

中心

節 電

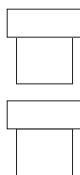
〈筆順〉

とめる

鬼 縦画が
でる

節 電

〈字形〉



竹 竹 竹 飯 飯 飯
千 雪 雪 雪 雪 電

束 花

終筆の変化

やさしい行書

点画と点画が筆の動きと
変わった部分を理解する
ことを「筆脈」という

やまと

楷書に比べて点画の形が
変わった部分を理解する
次へつながる気持ちで

次へつながる
気持ちで

次へつながる
気持ちで

次へつながる
気持ちで

次へつながる
気持ちで

や と

つき返して リズミカルに
に入る

* 源字については、異字体から変遷し
たものに*印を付して()にその字体
を記した。

* 字形は古筆から抽出した。上段には
源字に近い草仮名を配し、中・下段
にはその変遷過程等を配した。

ひらがなの字源 (355)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

源字	字形								
り	り	と	と	こ	こ	の	の	ま	ま
利	利	止	止	己	己	乃	乃	未	未
あり	あり	ト	ト	ラ	ラ	ノ	ノ	モ	モ
ウ	ウ	ト	ト	コ	コ	リ	リ	モ	モ

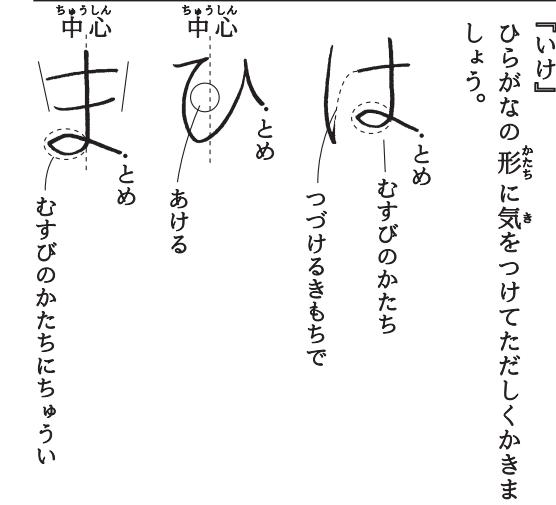
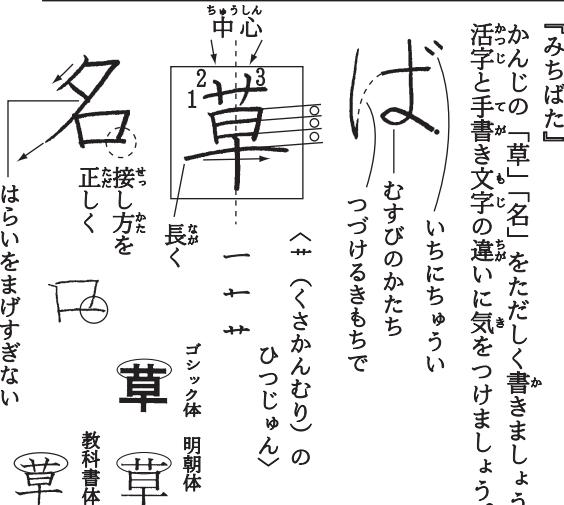
〔6月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

幼・小 学 1 年

支部名	名	
段・級	が	
学年	あ	
二	り	
名前	ま	
玉木	た	
麦	の	
	草	
	に	
	も	

支部名	る	
だん・きゅう	が	
がくねん	い	
一	ま	
なまえ	す	
かりやたくと	.	
	.	



[6月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	て	な	庭
段・級	も	り	の
学年	重	に	梅
四	そ	実	の
名前	う	を	木
牧野小梅	で	つけ	が
	す	て	、
	.	、	す
		と	す
			ず

支部名	リ	正	し
段・級	フ	し	い
学年	を	は	い
三	読み	つ	は
名前	まし	音	つ
次田鉄心	た	で	音
	.	セ	七

重 横の分間をととのえ
ましよう。
重 重 重

梅 折れの方向に注意しよう。
(筆順)

庭 組み立て方 广 (まだれ)
一 広 広 庭 庭 庭 庭

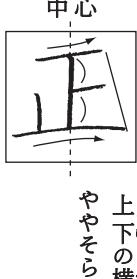
『梅の木』
庭の組み立て方に注意して書こう。
(筆順)



よこがで
下が出る



長く
たてが出る



じょうげ
ややそらす
上下の横画は
よこかく

漢字の字形に気をつけて正しく書きましょう。

[6月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名	に	城	私	
段・級	の	を	た	ち
学年	び	中	た	ち
六	て	心	ち	の
名前	い	と	市	市
白井 司	ま	し	の	の
	す	放	道	路
	.	射	路	は
		状		

支部名	付	結	ス	
段・級	近	び	ズ	
学年	し	つ	メ	
五	か	き	は	
名前	住	が	、	
森	ん	強	人	間
奈美	で	く	、	
	い	い	人	間
	な	な	家	ど
	い	い	の	の

状

射

城

『私たちのまち』
特に終画（点の位置）に気をつけて書き
ましょう。

状 状

（筆順）
まじわる位置。
方向・長さに注意

（筆順）
曲げすぎない

ナカサ坊城城城

家

強

結

『家』左右のはらい（なめ
分間）をつりあいよく書き
ましょう。

糸（糸へん）
弓（弓へん）
一（うかんむり）
一画で書く

「口」の画の
接し方に注意
（筆順）
結 結

『スズメ』
特に「家」の字形を正しく書きましょう。

[6月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生(行書)

中学生(楷書)

*書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	
段・級	
学年	中一
名前	水田 結花
産業に登録されました。	群馬県の富岡製糸場は、平成二十六年に世界文化遺産に登録されました。

馬 群
考 登
羊

登 字形
（筆順）
ノタヌベベ登
（簡単な行書）
次の線につながる
気持ちで連続する

『世界文化遺産』
登録されました
馬 遺 貴賛
（筆順）
一「ノ田馬馬
（筆順）
あける
（筆順）
しんにょう
（筆順）
あぐ
中心 等間隔

これからのお品締切日と課題

令和3年7月号～12月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5	
よ	さ
く	れ
つ	黄
た	色
く	と
標	と
効	黒
果	は
が	で
あ	、
人	デ
る	ザ
。目	イ
に	ン

幼・小 1	
を	こ
や	と
り	り
ま	に
し	え
た	。
。	さ

小 6	
も	の
短	詩
い	俳
詩	句
あ	は
る	、
形	。わ
の	が
文	世
学	が
で	界
す。	国

中学生	
温故知新とは、古いことを研究す	
ることにより新しい知識や道理を	
発見することである。	

小 2	
中	朝
で	の
お	つ
よ	め
ぎ	た
ま	い
し	水
た	の

小 3	
く	ほ
す	ご
の	色
に	は
役	、
立	身
ち	を
ま	か
す	。

小 4	
い	メ
線	ラ
に	皮
あ	ニ
た	ふ
る	の
と	中
ふ	の
え	強
る	黒
。	い
い	色
え	。
る	素

7月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・小 1	締切日
季節 太陽の 夏至	知恵	開会	雲	たなばた	ほたる	す	7月7日
夢兵 夏草や の跡どもが	選手宣誓	自由形	天の川	手あらい	うきわ	あさ	8月6日
希望 生きる	神秘	ガラス玉	月夜	工作	ゆかた	め	8月6日
ぐれみし	天体観測	達成	右はらい	花火	かき氷	せみ	9月6日
虫鳴く夜	交流	防災	満月	秋風	星	えいが	9月6日
えいしなみ	不言実行	敬老の日	ポスター	大海	王さま	みのり	9月6日
の秋晴れ	趣味	調査	主人公	区間	十月	川	10月5日
かふまじば	宇宙開発	演奏会	金魚	研究	白玉	ぶどう	10月5日
実努力は	能筆	晚秋	大使館	成長	光	メロン	11月8日
がもりみじ	公平無私	貿易港	豊作	ワクチン	文化	きずな	11月8日
の自然と の調和	電波	雪国	子守歌	注文	冬山	そば	12月6日
もり	理想実現	武道館	師走	絵本	花たば	テレビ	12月6日

書きを知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第51回 封筒の書き方3（様・殿）

私がまだ大学生だったころ、新年初めてのお稽古の時、師から出席者全員に向かって「きみたちから届いた年賀状の宛名の中に『様』と記されたものがある。…」と、いきなりお説教。その時、私は「先生」と書いたような気がするが、もしかしたら…と少々不安になりました。この時、初めて、敬称をマナーとしてとても厳格に考えている方が実際におられるという場面に遭遇し、「何事もきちんと考へて行動」、常にそうしていれば、ドキッとする事はなかつたと思いました。そして、このことが封筒やはがきに記す敬称の用い方について私自身でも詳しく調べ、そして実践する契機となつたのでした。

① 様：目上の人、同等の人、目下の人など幅広く使える。

ただし「先生」と用いる人を除く。

② 殿^ど：個人から個人に手紙を送る場合、目下に使う。

右に敬称の「様」と「殿」の違いを記しました。特に大事なところを太字にしました。現在の用い方では、「殿」よりも「様」の方が「格が上」とされています。ゆえに敬称の「殿」の使用を廃止している自治体すらあるほどです。「殿」は、肩書のある偉い人にも使いますが（これについては後日述べます）、ただし②に記したよう

に、個人から個人へ送る場合は、なんと「目下に」ということを知らないで用いると大恥をかくことになる敬称なのです。殿さまの「殿」なので、一見、こちらの方が「様」より格が上の敬称と勘違いしがちで、このような人を時々見かけます。ある友人から私宛に「殿」で結婚式の招待状が届いたことがあります。私は、喜んで出席しましたが…ちょっと複雑な思いでした。

ところで、なぜ、「殿」よりも「様」が上なのか、この点について疑問に思っていたのですが、ある時その謎が解けました。「様」という敬称は、神様・仏様^{かみさま}・^{ほとけさま}というように、「神仏」の敬称としても用いますが、「殿」は概ね人という気に気づきました。神殿・仏殿^{かみどの}・^{ほとけどの}とは言いません。このように漢字表記しますと「しんでん」「ぶつでん」と読み、建物になつてしまふからともいえますよ。ゆえに人間が、もつたいたなくも「神仏と同じ敬称を用いることになつた」と考へるとこれ以上の敬称はないと考えられます。付隨して徳川幕府の將軍を「上様^{うえさま}」といふことを思い出しました。こう考へると「殿様」もここでの「殿」は「との（主君の意）」であつて敬称の「どの」ではありません。よって、「様」が敬称なのです。

今月のホープ



のびやかな筆致で、紙面に大きく広がる作。筆運びが丁寧で、細部まで心配りが届いています。名前も立派です。



一字一字が完璧で力強く堂々としています。漢字とかなの調和も見事で、美しく生き生きとした作品です。

中三 遠藤杏子（東葉支部）



最後まで集中力を維持、しっかりととした線で字形も見事。払いが勢い良く、作品を一段と印象づけました。

小六 高橋芽依（ぜん支部）



字形正確で、美しい。行の中心通り、明るく爽やかな作。名前まで気を抜かず丁寧に気持ちを込めて書きました。

小五 奥村彬恵（華祥社支部）

小四 木本結月（すみれ支部）



「聖火」

広瀬 舟雲

書道芸術院春華賞

【春華賞】現代詩文書部 広瀬 舟雲

大らかで暢びやかな筆致が、スケールの大きな悠揚迫らぬ表情を見せ、観者を魅了する快作。

〈辻元大雲先生評〉



現代詩文書部
広瀬 舟雲

第74回書道芸術院展

書道芸術院大賞



「吉田一穂の詩」

齊藤 恒子

「一穂」の詩と出会いました。距離（ディスタンス）という言葉が今までご指導下さいました。吉田一穂先生、宮城野書人会の先生方、書友の皆様に心より感謝申し上げます。これまでご指導下さいました熊谷苑先生、中央部の大膽な表現が核となり、左右の小書き、落款が要所を締め、立体感を醸し出す快作。



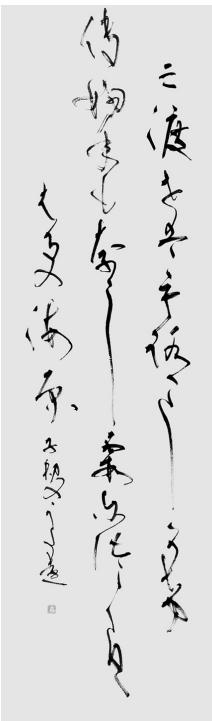
現代詩文書部
斎藤 恒子

△編集部より
二月に全国学生書道展と一緒に
行われた大人の展覧会上位
作品です。

〈辻元大雲先生評〉

書道芸術院準大賞

「見渡せば」



熊谷 翔

「観ひ」



早坂 萌香



「雪の花」

工藤 山房



「七言二句」

小林 舟轍



「月蛾」

柳川 蝶月

令和		
年	月	日

◇ 登 錄 用 紙 ◇

団体番号		支部名		先生名	
------	--	-----	--	-----	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月1 5日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に手続きをお願いいたします。

※現在の学年を明記してください。



氏 名	ふりがな	学 年			備 考
		幼	小	中	

◇ 部数変更届 ◇

現 在		増 減	合 計
冊	月号から		冊
事務局使用欄			

※部数減の変更は、毎月1 5日までに

部数増の変更は、いつでも事務局へご連絡下さい。

※この用紙をコピーして繰り返しお使い下さい。

7月号毛筆参考手本（予告）7月7日締め切り分

8月号毛筆参考手本

幼・1年

3年

5年

中学

○新年度が始まりました。ご入学・ご進級おめでとうございます。

○昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で昇段級試験を一ヶ月延期にしたりと大変な一年でした。まだ感染症は終息しませんが予防対策を徹底して試験の準備を進めております。年に二度の特別昇段級のチャンスです。力作をお待ちしております。

○「昇段級試験受験一覧」がお手元に届きましたら、特に現在幼稚園・保育園の中・年少の方のご確認をお願いいたします。システムの都合上幼稚園・保育園生全員が新生の出品券になっています。幼稚園・保育園生なのに一年となつていましたら、「昇段級試験受験一覧」に学年の訂正をしてください。

○先月号にて先生方に出品券添付の際のお願いをさせて頂きました。ご多忙のところご協力を頂きましてありがとうございました。おかけ様でだいぶ改善されました。あともう少しです。今後とも引き続きご協力ををお願いいたします。

（葉扇）

うき
小二
山本けい

るほた
小二
山本ゆみ

2年

川天の
小四
石川ゆか

雲
小四
木下正二

4年

ダソイ
小六
山田友一

夏至
小六
神山久代

6年

季節
中三
夏山光太

太陽の
中三
田中実

宣誓手選
中二
小川三男

あさ
小一
おがたかし

ばたな
小三
上田大

形自由
小五
水永英芳

開会
小五
串田樹音

す
小一
たむらきみ

ばたな
小三
上田大

知恵
中一
谷岡春妃